

うことであります。

当市の行政改革に対する方向性につきましては、折にふれ申し述べてきたところでありますが、行政改革はあくまでも手段であつて、目的とするところは、市民の皆さんが安心して暮らせるよう、効率的、効果的な都市経営を行うことでもあります。

昨年七月、この考え方に基づいて行政組織の再編、再配置に着手いたしました。期待どおりに機能してはいるか、もし機能していないとしたらどこに問題があるか、また、その問題解決のためにはどうすればよいかなど、さらに踏み込んだ検証を加えてまいりたいと考えております。

平成九年度の施政方針でも申し述べましたように、組織を改めたことで、それがそのまま市民サービスの上につながるものではあります。組織を構成しているのは「人」であり、行政改革成功の鍵は、「この人」が振舞っていると言えます。

申すまでもなく、行政改革に対する評価は市民の皆さんが判断されることであります。従いまして、市民の皆さんから「行政は変わった」との評価をいただくためには、何よりも市職員一人ひとりが日々行政改革であることを念頭に、実績を積み上げていくものでなければならぬと考えております。引

き続き、本改革の意図するところの浸透に努めてまいれる所存であります。

組織と同様に、事務・事業についても見直ししていく必要があります。

見方を変えれば、市民の皆さんは行政サービスの受け手であると同時に、税という負担を通じた送り手でもあります。その市民の皆さんが、「是」とする行政サービスのとは何なのか。また、限りある財源という現実の中で、サービスの選択肢の健全化をどう進めるべきか。これらについてさらに考えを深めたい。新年度におけるきまとしては、「その時の社会的背景から応急的に実施し今日ではなまじない事業はないか」「応分の負担を求めることが公正・公平と考えられる事業はないか」等の点検を徹底してまいりますと同時に、市職員の現行の給与制度、勤務体制につきましても、妥当性、合理性の観点から今一度問い直し、てみないかと考えているところあります。



毎年好評な市民大学 (写真は修了式)

して、あえてこの試験を選択し、未来を支える土台を築いていくとまで考えております。ご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

基本的な考え方の二番目には、生涯学習の気運を高めることであります。

今私たちは、環境や平和といった地球規模の問題、また身近な教育の問題、少子・高齢化の問題、あるいは今ほど申し述べました行政改革の問題など、人まかせではなく、一人ひとりが考えを深めなければならぬ多数の問題に直面しております。そして私たちに、歴史に責任を持つという意味から真摯な答えが求められ、より高める努力、つまり学ぶことの必要性を強く感じているところあります。

生涯学習は、情報化や国際化に対応するための学習もあれば、生

活に潤いをもたらす文化活動、また、知識や技術を生かしたボランティア活動など多種多様であります。

もとより、自らの人生をどのように設計し充実させるかは個人に委ねられていることですが、何を学ぶかは個人の自由な選択であります。しかし忘れてはならないのは、学がテーマが何であれ、学ぶ意欲や姿勢が自身の人生を豊かにするだけでなく、問われている今日の問題と向かい合う力を育むということでもあります。さらに強調させていただきます。高い学習意欲は、地方分権や地方自治を根づかせる、言い換えますと、自己決定能力、自己責任能力の高いまちを創造するということでもあります。

当市に目を向けますと、市民の皆さんの学習意欲には目を見張るものがあります。実際、昨年一年を振り返っただけでも、市民の皆さんの力を集めた行事は枚挙にいとまがありません。この事実が、とりまおなじみ旺盛な学習意欲で蓄積された内面的な豊かさの発露であり、あらためて当市の潜在能力に意を強くしているところあります。

臨時教育審議会が、二十一世紀に向けての教育ビジョンを「生涯学習社会の移行」と答申してから十年になります。私はこれまで、生涯学習の意図するところをくみ取り、その振興を幅広い観点から

ては、総額二百九億六千万円を計上いたしました。

また、その他の特別会計等の当初予算額は、老人保健特別会計 六十八億八千四百万円、下水道事業特別会計 四十五億一千万円、農業集落排水事業特別会計 二千百万円、公共用地先行取得事業特別会計 一千四百九十万円

ることであります。

制度面での様々な問題、課題が指摘されておりますが、いずれにいたしましても措置制度から保険制度への一大転換でありますから、運営主体となる市町村は諸準備を急いでいかなければなりません。新年度におきましては、介護保険事業計画策定のための基礎資料として介護ニーズの現状把握に努める一方で、介護認定業務、介護サービス計画の作成にモデル的に取り組むなど、着実に準備を進めてまいりたいと考えております。

高齢者福祉に関するこのほかの施策といたしましては、在宅福祉への期待が高まっておりますことから、夜間及早期のホームヘルプサービスを民間委託で実施することといたしました。また、痴呆

# 人と環境にやさしい市民生活の創造

国民健康保険特別会計 三十九億七千九百万円、工業団地造成事業特別会計 四百七十万円、水道事業会計 二十四億四千九百九十四万四千円、となったところであります。

|     |         |     |         |
|-----|---------|-----|---------|
| 衛生費 | 17,520円 | 商工費 | 13,306円 |
| 消防費 | 8,279円  | 議会費 | 3,638円  |
| その他 | 16,295円 |     |         |

人と環境にやさしい市民生活の創造に関する主な事業

●老人入所措置事業…4億964万円

養護老人ホームや特別養護老人ホームの入所に要する費用です。

●ホームヘルプサービス事業…1億4494万円

障害を持つ老人や身体障害者の家庭へホームヘルパーを派遣します。今年度から夜間と早期のホームヘルプサービスも始めます。

●特別養護老人ホーム建設資金償還金(債務負担)…8億6849万円

特養ホームの建設資金償還金を二十年にわたって助成する予定です。

| 会 計 名          | 予算額(歳入・歳出) | 前年度比   |
|----------------|------------|--------|
| 老人保健特別会計       | 88億8040万円  | +10.8% |
| 下水道事業特別会計      | 45億1000万円  | - 0.4% |
| 農業集落排水事業特別会計   | 2100万円     | -21.3% |
| 公共用地先行取得事業特別会計 | 1490万円     | - 3.9% |
| 国民健康保険特別会計     | 39億7900万円  | - 3.7% |
| 工業団地造成事業特別会計   | 470万円      | -60.8% |
| 水道事業会計         | 24億4994万円  | -10.9% |

市民一人当たりに使われるお金は

|     |         |        |         |
|-----|---------|--------|---------|
| 総務費 | 22,800円 | 農林水産業費 | 20,969円 |
| 公債費 | 44,542円 | 教育費    | 44,227円 |
| 土木費 | 59,422円 | 民生費    | 59,112円 |

合計31万110円



ホームヘルプサービスなど福祉を充実